

温室効果ガス削減目標を定める

中小企業版 SBT(SBT-SME)認定を取得しました



SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2024年7月、協伸静塗株式会社は、温室効果ガス排出量削減目標について、中小企業版 SBT *¹ (SBT-Small and Medium-Sized Enterprises) の認定を SBTi *² より取得しました。脱炭素社会の実現に向けて、積極的な CO₂ 排出削減に取り組めます。

* 1 SBT (Science Based Targets) とは「科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出量削減目標」

* 2 SBTi (Science Based Targets Initiative) は、WWF (世界自然保護基金)、CDP (気候変動に関する NGO)、WRI (世界資源研究所)、国連グローバル・コンパクト (UN Global Compact) による共同イニシアチブで、パリ協定の目標達成 (世界の平均気温の上昇を産業革命以前の水準から1.5度に抑制する努力をする) に向けて、企業によるSBTを設定することを支援・認定しています。

温室効果ガス(GHG)排出量削減目標

排出区分	区分の定義	2030年目標
Scope1	事業者による温室効果ガスの直接排出(燃料使用等)	温室効果ガス排出量(Scope1+2)を2018年比で50%削減します
Scope2	他社から供給された電気等の使用に伴う間接排出	
Scope3	事業活動に関連する他社の排出	排出量を算定し削減に努めます